

12月行事予定表

1 (金)	女性ドック
5 (火)	乳児健診 心配ごと相談
6 (水)	すこやか相談
8 (金)	離乳食講座
12 (火)	1歳児・2歳児歯科健診
14 (木)	男性ドック ベビーマッサージ教室
15 (金)	心配ごと相談 離乳食講座
20 (水)	すこやか相談 読み聞かせ・お話し会
21 (木)	健診結果説明会
25 (月)	心配ごと相談 心の健康相談
28 (木)	ママと赤ちゃんのケア教室
29 (金)	診療所休診日
30 (土)	診療所休診日
31 (日)	診療所休診日

12月11日～12月20日

飲酒運転撲滅・冬の交通安全県民運動・
年末地域安全運動

目次

- P3 サイヒロコさんアート企画展オープン
- P4 フラワーコネクションプロジェクト
- P6 NOSTALGIC FESTA 2023
- P8 まちのわだい
- P10 町政NEWS
- P12 まちづくり町民説明会
- P16 ゼロカーボン通信・防災コラム
わたしと金山・ほっとクリニック
- P18 お知らせ掲示板
- P22 図書室だより・集落支援員通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P24 プロジェクトK

今月の表紙



11月12日、十日町通りなどを会場に開催されたNOSTALGIC FESTAの終幕の様子。1日限定で展示された名車たちが美しい町中を駆け、それぞれの帰路につきました。

副町長室から

町制施行100周年事業が始まりました。



副町長

小野 和俊

金山町は、大正14年1月1日に町制施行し（初代町長・山内一誠氏、令和7年1月1日に、県内の町では初めて満100年を迎えます。

関東大震災直後、大正デモクラシーの世の中で、この年に一定の納税者だけに選挙権がある制限選挙から、満25歳以上の成年男子に選挙権がある男子普通選挙になりました。

本県では、昭和天皇が東宮の時に行啓された年で、ご覧になった最上川の様子を、翌年の歌会始で詠まれました。後に曲が付され、昭和57年に「最上川」として山形県民の歌となりました。町内に目を向けると、人口8,214人、1,134世帯、有業人口（職業別）は農林業が約80%を占め、電灯が急速に各集落に普及し、新庄金山間で乗合自動車が開業し、一部世帯では電話も普及し始めました。

また、100年前の通常業書は1銭5厘でした。物やサービスによって、価格上昇率が異なり、お金の価値の単純比較は困難ですが、現在の通常業書は63円なので、計算上4,200倍も価値が変わったことになります。

大正から時を経た令和の現在は、社会・生活が大きく変わり、高速交通網の整備、医療の進歩、IT技術の伸展、人口減少・地球温暖化問題など、当時では想像もできない世の中と言えます。100年後の未来も、同様に想像できませんが、夢物語と思われることが実現されているのだろうかと思えます。

町制施行100周年事業は、これまでの町づくりの歩みへ敬意と感謝を表し、全町で祝う機会とし、町民が誇りと愛着を胸に「新たな100年を迎えに行く」という機運を高め、次の未来へ力強い一歩で、強く美しい金山杉のように町の年輪を刻むという基本理念の下、プレ事業、記念式典、記念誌・映像制作、町づくりビジョン策定、ポスト事業等を3か年にわたり実施していく予定です。一緒になって、町制施行100周年を盛り上げていきましょう。